

もみじ台地域

学校規模適正化検討委員会 ニュース

～もみじ台地域の中学校の在り方について～

「もみじ台地域学校規模適正化委員会」は、小規模化に伴い教育面や学校運営面で様々な課題が生じている中学校の現状を心配する保護者や地域の方からの声をうけ設立されました。

委員会のメンバーは、もみじ台地域にある小学校・中学校の保護者、町内会関係者、各学校の先生、総勢19人で構成されています。

令和2年12月14日(月)に、もみじ台管理センターで、1回目の「もみじ台地域学校規模適正化検討委員会」を開催しましたので、検討結果についてお知らせいたします。

もみじ台南南中学



もみじ台中学



第1回検討委員会における決定事項

- 代表委員には、もみじ台自治連合会会長 東 健二郎氏を選出しました。
- 検討委員会は公開しないこととしました。
- 検討委員会の状況については、「学校規模適正化検討委員会ニュース」を発行し、地域の皆様にお知らせしていくこととしました。

地域住民の皆様から寄せられたご意見

1 回目の検討委員会の開催にあたって、「検討委員会の設立」や「もみじ台地域の中学校の現状・課題」について掲載したチラシを、地域内の各世帯にポスティングさせていただきました。

チラシをご覧いただいた皆様より、メールで 18 件、FAX で 3 件、計 21 件のご意見をお寄せいただきました。ありがとうございます。皆様から頂いたご意見については以下のとおりです。

- 統合する前の移行期間として、来年度(令和 3 年度)、中学校 1 年生からでも、越境入学の基準を緩和するなど、希望する中学校への入学を可能にするよう対策をして欲しい。 [令和 2 年 11 月 FAX]
- もみじ台南中学校は、生徒数が少なくなっているのもみじ台中学校に統合し、もみじ台南中の生徒はバス通学にしたら良いと思う。(朝のみ。バス代は市で負担する。) [令和 2 年 12 月 FAX]
- 実際、私の子どもの学年も 1 クラスで、このままいくと 6 年間クラスが変わることもなく、固定化された人間関係の中で過ごしていくことになり、南中学校は部活動が少ないとお聞きします。子どもがやってみたく、続けたい部活動が通う学校にないのはさみしいものです。協議しなければならないことも多いとは思いますが、一刻も早く子ども達のために統合への対応をして頂きたいです。 [令和 2 年 12 月 FAX]
- もみじ台エリアは子どもの人数が圧倒的に少ないのに 2 つの中学校があるのが不思議なぐらいです。中学校では、他の小学校からの新しい人間関係があって然るべきだし、お互い切磋琢磨し社会性を学ぶべきです。子どもたちの青春は一瞬です。一日でも早く(中学校を)統合してください。 [令和 2 年 11 月 メール]
- 高齢化が進んでおり、若い人も魅力を感じる街づくりをして欲しい。犠牲になるのは、今の子どもたちです。 [令和 2 年 11 月 メール]
- 現在、少人数学級が見直されており、基礎学力を上げるには少人数制を希望。統合するとなると通学距離がとても長い。教材を背負ってかなりの時間、冬道を歩くこと、部活動後、徒歩での帰宅は不安を伴う。もし、統合するのであれば、バス通学を許可して欲しい。 [令和 2 年 11 月 メール]

- 今、一番に子どもの将来を考えることが大切です。近い将来、統合するのであれば、今、即、統合すべき。動くのが遅かった分、直ちに結果をだしていただきたい。 [令和2年11月 メール]
- 札幌市という大きな街に住んでいながら固定化された人間関係で良いことは決してないと思います。地域に子育て世代が転入してくるためには、中学校統合が必要だと思います。一刻も早く子どもたちにとって良い教育環境を作って欲しいと思っています。 [令和2年11月 メール]
- もみじ台南中学は生徒数が少なく、部活動も選べないので、もし、もみじ台中学校と統合するのであれば早い方が良いでしょう。バスの終点に近い子は、帰宅時に暗くなるので、スクール便か定期代を市に負担して頂けると心配が減ります。 [令和2年11月 メール]
- 教育委員会だけではなく、札幌市も巻き込んで、若者が移り住みやすい政策を考え、地区の若返りを図ることが重要だと考えます。 [令和2年11月 メール]
- 自立していくはずの中学校で人間関係が広がらないのはネックになると思います。また、小学校から一緒の人間関係は先生も踏み込みにくい絆が形成されています。生徒数に比例して、生徒の意欲の問題もあるので無いですでしょうか。やはり人数に左右される環境は大きいと思います。 [令和2年12月 メール]
- 小学校が統合になった時から、「中学校も統合になるのでは？」と噂があったので期待していたのですが、やっと動き出したのかと……。遅い気がします。残念です。子どもたちのために早急に解決していただけたらと思います。 [令和2年12月 メール]
- 早急に合併するべきだと思います。これから先人との関わり方を学ぶ時期に、少数人数で過ごすことに不安があります。合併が決まる前に中学生になるとすれば、どちらの中学に行くか選択出来るようにして欲しいです。 [令和2年12月 メール]
- 少数人数が嫌で私立に行く人や、わざわざもみじ台中学に行くためアパートを借りる人や引っ越しをしている人が出ているのに、もみじ台南中に行かなければならない選択肢のない子供達は人間関係などを学ぶ差がでるのでは？部活の選択肢も無く、これから先色々な事に不安を感じます。早急に合併について考えて頂きたい。 [令和2年12月 メール]

○統合すると当面は良いかと思いますが、近い将来、また、同じことを考えなければならなくなると思います。若い世代の方々が移り住んで来やすいまちづくりも一緒に考えるべきだと思います。

[令和2年12月 メール]

○スポーツ人口が減る中、中学校統合により、少しでも活性化し、選択肢が増える事が重要だと思っています。利益重視では進まないとは思いますが、子どもが増える地域には将来的な税収も見込めるのではないのでしょうか。

[令和2年12月 メール]

○もみじ台地区で若い世帯（子ども）が減っている原因は何なのか、まちづくりを今、行政が本気で考え行動しないと、もみじ台は「老人ホームのまち」、「姥捨て山」に。緑豊かで老若男女問わず笑顔の住みよい地域を願う。

[令和2年12月 メール]

○少人数の中学校に通い人の関わり方を学ぶ事ができるのでしょうか。子供の人生たくさんの人や先生と関わるべきだと思います。部活も少なくやりたい部活も無い。子供にも選択する権利はあります。もっと早く対策をして頂きたい。

[令和2年12月 メール]

○もみじ台中学校又はもみじ台南中学校のどちらになっても、それほど通学距離は変わりませんので、もみじ台中学校に統合しても問題ないと思います。また、学校選択の余地として青葉中学校を入れてもらうことを希望します。

[令和2年12月 メール]

○もみじ台地区は明らかに少なくなるのが目に見えているので、もみじ台のみだけでなく、青葉中や厚別中の校区も巻き込んだ見直しを行なった方が良いかと思います。（子どもが中学から高校に進学した際にその規模感とまどうことや中学時代の人間関係の固定化などが懸念されます。札幌にある学校でありますので、もう少し規模のある単位で見直しみてはどうでしょうか。

[令和2年12月 メール]

○少人数だからこそ、行事や生徒会などでは、それぞれの子もたちの活躍する機会も多かったですし、かつ平等に与えられていたなあ、と思います。先生方は、校長先生も含め、生徒の名前と顔をしっかり覚えてくれているので、親としては安心ですうれしいです。なので、少人数でよかった、と思うこともたくさんあります。ですが、やはり9年間という長い学校生活を考えると、規模が大きい方がメリットが多いのでは、と感じます。

[令和2年12月 メール]

もみじ台地域の中学校



もみじ台中学校

開校年 1975 年
 敷地面積 20,553 ㎡
 生徒数 7学級 240 人
 ※R2.5.1 現在
 小学校区 もみじの森小学校
 もみじの丘小学校
 ひばりが丘小学校



もみじ台南中学校

開校年 1979 年
 敷地面積 18,081 ㎡
 生徒数 4学級 103 人
 ※R2.5.1 現在
 小学校区 もみじの丘小学校



検討内容：もみじ台地域の中学校が抱える課題

「もみじ台南中学校」、「もみじ台中学校」の現状と小規模化により生じている課題について、意見交換を行いました。

【学校規模について】

- もみじ台中ともみじ台南中の生徒数が年々減少している。特にもみじ台南中は生徒数の減少が顕著で、保護者や児童に不安が広がっている。
- 生徒数が少なく、クラス替えを効果的に行えないため、小学校からの人間関係をリセットすることができない。
- 小規模校は小規模校で良いところもある。
- 少人数のなかでも、子どもたちのためにできることは工夫してやっているが、難しい部分もある。
- 多くの子ども、多くの教員、多くの保護者がいるほうが教育効果は高いと感じている。

【部活動について】

- 部活動の種類や人数が少なく、試合や大会など十分な活動を行うことが難しい。

【生徒の想いについて】

- （統合となる場合、）新しい環境に適応できるのか、不安を感じている生徒もいる。
- 少人数学級の導入などにより生徒の不安を解消していく必要がある。
- 少子高齢化が進む中、中学校の統合は喫緊の課題であり、生徒たちが納得して統合できることが大事である。

【教員について】

- 教員の人数が少なく、教員一人ひとりの負担が大きいと聞いている。

【もみじ台地域のまちづくりについて】

- 中学校の小規模化をいち早く解消したうえで、長期的には、地域のまちづくりについてよく考えなければ、子育て世代の流入は見込めない。
- 将来の市営住宅の再編により、余剰地が生まれれば、札幌オリンピックの選手村を誘致するなど、もみじ台を魅力あふれる街にしていきたい。魅力あふれる街、魅力ある学校で人口の減少を防いでいく必要がある。

【通学について】

- （統合となる場合、）居住地によっては通学距離が遠くなることに不安を感じている。
- 通学する中学校を選択することが可能な指定変更区域があることで、混乱が生じている。
- 中学生は教材や部活道具などの荷物が多く、通学面で負担となっている。
- 夜間は暗い道が多く、部活後の下校時などに防犯上の懸念がある。

1 回目の委員会における検討結果

検討委員会では、皆様からのご意見を参考に検討を進めさせていただきました。中学校の小規模化に伴い生じる課題やその解決策についての検討結果は以下のとおりです。

- 1 もみじ台中学校、もみじ台南中学校の統合により、小規模化を解消する必要がある。統合に際しては、校舎や設備の改修状況や、敷地の広さなどから「もみじ台中学校」を活用することが適している。
- 2 通学面などの統合に際して課題となり得る事項については、今後も引き続き検討を行っていく必要がある。
- 3 統合は、両中学校間で交流事業を行うなどして、前向きな統合になれるよう生徒の気持ちに十分に寄り添いながら、一定期間を設けて丁寧に準備を進める必要がある。
- 4 今回の中学校統合を契機に、将来的にはもみじ台地区の中心部に小学校と中学校を集約して「小中一貫校」を設置するなど、子育て世代にとってより住みよいまちづくりを推進していく必要がある。

1 回目の検討委員会の検討結果や、皆様から頂くご意見を踏まえて、今後、2 回目の検討委員会を開催し、検討を継続していく予定です。

上記検討結果に関するご意見がございましたら、下記事務局あて E-mail または F A X でお寄せください。

もみじ台地域学校規模適正化検討委員会事務局

E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

FAX 011-211-3837

委員の構成(敬称略)

東 健二郎	もみじ台自治連合会	会長
根本 昌一	もみじ台自治連合会	副会長
須貝 淑郎	もみじ台自治連合会	市営住宅部長
小林 靖幸	もみじ台南中学校PTA	会長
熊田 美和	もみじ台南中学校PTA	副会長
藪田 あずさ	もみじ台中学校父母と先生の会	会長
中田 信文	もみじ台中学校父母と先生の会	副会長
林 孝之	もみじの丘小学校保護者と教職員の会	会長
石塚 絵美	もみじの丘小学校保護者と教職員の会	副会長
森 雅司	もみじの森小学校PTA	会長
杉本 明美	もみじの森小学校PTA	副会長
大川 博	もみじ台南中学校	学校長
岸本 淳志	もみじ台南中学校	教頭
兼間 昌智	もみじ台中学校	学校長
佐藤 元基	もみじ台中学校	教頭
井田 敦	もみじの丘小学校	学校長
福岡 翼	もみじの丘小学校	教頭
大嶋 稔康	もみじの森小学校	学校長
多田 吉宏	もみじの森小学校	教員

2 回目の検討委員会の開催について

2 回目の開催は令和 3 年 1 月中旬～下旬の開催を予定しています。

ご意見ご質問は下記の検討委員会事務局までお寄せください

もみじ台地域学校規模適正化検討委員会事務局
(札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 S T V 北 2 条ビル 5 階
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp
F A X 011-211-3837
電 話 011-211-3836



さっぽろ市
02-S01-20-1954
R2-2-1223
SAPPORO